

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

かわら版

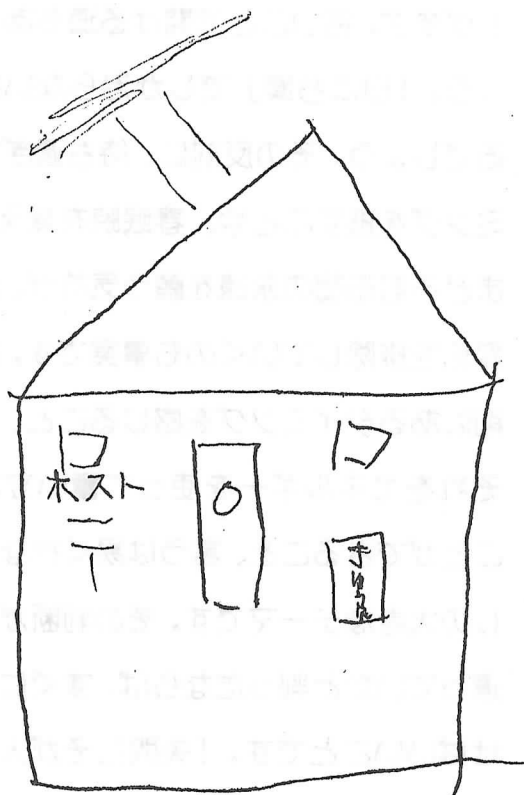
もくじ

表紙の絵 数藤英治／巻頭コラム
杉浦 良／詩 米田 太
お知らせと出来ごと
協力者名簿／メンバースタッフ投稿
コーナー 藤田喜彦 加藤祥子 他
編集後記

2004 7 NO 106

巻頭コラム (杉浦 良)

太陽と緑の会の女性スタッフとして、活動をいろいろな側面から支えてくれた彼女も、気がつくと早8年を迎えることになりました。ここの忙しい日常活動がそろそろ苦しくなって来る頃です。「実は辞めたいと思うんですが・・・」そう搾り出すような言葉で語る彼女に、もうすでにその言葉をどこかで聞いたような錯覚に陥る、私がありました。私達の活動が、例えば他の一般企業や公的機関と比べて圧倒的に大変だ、とは思いません。ただ様々な角度から試されるため、いつもバタバタとして、じっくり深めながら力を付けていくという感じには、なかなかたえません。一つ一つ言葉を深め、育もうとしたいと心が感じ始めたとき、たぶんその決断が否応なく沸き出たのでしょう。「物事の転換点には必ず『縁』と『タイミング』と『勢い』が重なりあっている」というのが若輩者の私が良く使う言葉で、進路の変更や結婚といった出来事には妙にこのことがベースにあると、勝手に

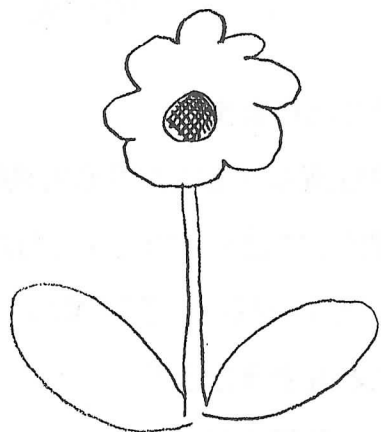


絵・数藤君

に考えております。

私達が運営する障害者地域共同作業所に5年間通ってきてくれたAさんにも、「そろそろ短時間のパートでもいいから、お金を稼ぐことを考えたらどう？」とかなり強引に、伝える機会がありました。たぶん少々

強引に伝えることがなければ、もう5年ほど通い続けることになってしまう、そんな気配を感じたからです。「できればこのままずっとこんな風でいたい・・・」そう自分の心が感じてしまう日常に、「今を逃せば、働いてお金を稼ぐという経験の獲得を失ってしまうかも・・・」という危機感が押し上げます。待つことで開ける道もあるでしょう。「日にち薬」でしか治らない病もあるでしょう。その反対に、待ち過ぎてタイミングを逃すことや、春眠暁を覚えずと、まどろむ布団の永遠を願う気持が、頑なに変化を排除していくのも事実です。ある時期にあるタイミングを感じることに、そしてそれをエネルギーを使って奮い立たせることができること、言うは易く行なうは難しの大きなテーマです。その判断がもし間違っていたと判ったならば、すぐに引き返せばいいことです。「失敗こそが人生の達人になる近道」と自分に言い聞かせている今日この頃です。



絵・三木義文さん

ピーマン

米田 太

中味はカラ

ただ、種をかくして

みどり色の

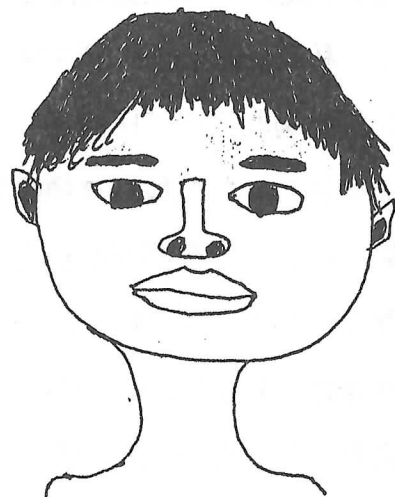
にがい味、ピーマン

けむたがられるけど

元気になるやさしい

だからぼくは

あなたを好きになりたい



木村有理子

作・藤田喜彦

お知らせ

体験ボランティア 2004

＜基本コンセプト＞4泊5日
泊り込みでボランティアをして
みませんか。

NPO法人太陽と緑の会は、
障害者地域福祉、不用品、資源
ごみのリサイクル、無農薬農業、
自然観察、助成活動などに取り
組んでいる「市民活動法人」で
す。様々なハンディを持った人
達の働く場所として、リユース、
リサイクル実践の場として、20
年間活動してきました。

日中はハンディを持ったメン
バーと共に汗を流し、夜は語り
のひと時を過ごす。

特技のある方もない方も、福
祉や環境問題について知ってい
る方も、知らない方も大歓迎で
す。お気軽にご参加下さい。

＜日程＞ 平成 16 年 8 月 26 日
(木) ～ 30 日(月)

＜開催場所＞ NPO法人 太
陽と緑の会 事務局

＜定員＞ 5 名

＜参加費＞ 500 円(ボラン
ティア保険料)

＜ボランティア内容＞太陽と緑
の会の日常活動全般

様々なハンディを持った人達
とのリサイクル活動及び無農薬
農業

＜参加資格＞

●高校生以上の方

●当会の活動に興味のある方

＜応募方法＞ 太陽と緑の会事
務局まで参加申込書を請求して

申し込み(太陽と緑の会ホーム
ページからもダウンロードでき
ます)(詳細は太陽と緑の会ま
で)

＜申込締切＞ 参加申込書 8 月
20 日(月)必着

＜主催・問い合わせ＞ NPO
法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府
町南岩延 107-1

TEL

088-643-1054

FAX

088-642-1054

URL:[http://www2.ocn.ne.jp/~](http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm)
[t-midori/index.htm](http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm)

鮎喰川クリーンアップ 2004

5 月 31 日、午前 9 時 30 分～
午後 14 時 30 分、太陽と緑の会
のハンディを持ったメンバー、
スタッフ、ボランティア、計 20
名が参加して、時折小雨もぱら
つく中、鮎喰川河川敷の一斉ク
リーンアップ及び草刈りを行い
ました。拾ったゴミは 2 トンダ
ンプ 1.5 車分、草刈りは総延長
約 2 キロメートルに渡り行いま
した。

不燃ごみは徳島市の中間処理
場へ、可燃ごみは徳島市の西部
焼却場へ、空き缶及び鉄くずは
鉄くず業者へ、それぞれ当会が
トラックで搬入しました。

また、当会で処理困難な軽自
動車(乗用車)、テレビ、洗濯機、
パソコン、古タイヤについては、

徳島県土木事務所の方がすぐ
に撤去して下さいました。

この一斉クリーンアップは
徳島県環境県民会議主催の「ゴ
ミゼロの日キャンペーン」の一
環として行っており、今年で 4
回目となります。第 1 回目は中
鮎喰橋下と堤防道路土手下の
清掃、第 2 回目、第 3 回目は中
鮎喰橋下の清掃と堤防道路沿
いの草刈りを行いました。

できることは私たちでやり、
できない部分については行政
の方にもご協力をお願いする
ことで、少しでもきれいな街に
することができれば、と思いま
す。

青年長期ボランティア 活動開始

平成 16 年度青年長期ボラン
ティア計画により社団法人日
本青年奉仕協会から派遣され
た吉川良祐君(長野県出身、18
才)が、4 月 22 日より 1 年間に
渡るフルタイムボランティア
活動をスタートしました。

月の宮共同生活棟で共同生
活を行いながら、日中はハンデ
ィを持ったメンバー達とのリ
サイクル活動、農作業などに取
り組む予定です。

当会では昭和 63 年度から一
年間ボランティアの受け入れ
を始め、アジアボランティアを
含めると、今回の吉川君が 19
人目となりますが、19 人の中で
最年少のボランティアとなり

ます。

田崎君活動終了

5月18日、平成15年度青年長期ボランティアとして、昨年4月1日より活動してくれていた田崎君（神奈川県出身 22歳）が活動を終了しました。現在は郷里の神奈川県で新たな仕事に取り組んでいる、とのこと。

田崎君は、活動開始以来、軽トラックによる古紙搬入、不用品回収、リユース品配達、衣料品部門のシステム改善、店内のディスプレイ改善に意欲的に取り組んで頂き、当会に大変大きな変化を残してくれました。

当会に通ってくるハンディを持ったメンバーも田崎君から大きな刺激を受け、特に衣料品責任者の工藤君はこの1年で見違えるほど力がついてきました。1年間、本当にありがとうございました。

田崎君の今後の活躍を願っています。

スタッフ退職

平成12年4月より、太陽と緑の会の専任職員として活動してきた益田君（28才 千葉県出身）が、5月4日付で退職しました。

益田君は、平成12年7月にスタートした太陽と緑の会月の宮作業所で、様々なハンディを持ったメンバーと、無農薬農業、自然養鶏、自転車リサイクルなどの作業に取り組んでくれました。また、月の宮共同生活棟のスタッフとしてメンバーのサポートを行

った他、体験ボランティアプログラムの準備 運営にも力を尽くしてくれました。

郷里の千葉に帰っても、持ち前のパワーとバイタリティで道を切り開いていってくれることを願っています。

4年間お疲れ様でした。

新スタッフ加入

6月17日から、今倉君（25才 徳島県出身）、一條さん（35才 徳島県出身）が当会での活動を開始しました。

今倉君は小型トラックに乗って、主に不用品の回収作業、古紙 鉄くずなどの搬入作業を担当しています。大型免許を持っており、生まれも育ちも徳島なので地理にも明るく、即戦力として活躍してくれています。

一條さんは、海外青年協力隊のOBで、7年間アフリカで村落開発、農業指導の経験を持っており、月の宮作業所でスタッフの白石さんを協力にサポートしてくれています。

お二人の今後の活躍に期待しています。

通常総会開催

6月19日、午後6時30分から午後9時まで、太陽と緑の会事務局にて、第5回特定非営利活動法人太陽と緑の会通常総会を開催しました。出席者は13名、委任状提出者が29名で、平成15年度事業報告及び収支決算報告の承認を行いました。

意見交換では太陽と緑の会に

の活動の問題点について貴重なご意見を頂きました。「今後ボランティアの位置づけをどう考えていくのか」「次の世代を育てていく必要があるのではないか」など、当会の課題に関する質疑応答がなされました。

5月8日、第8回徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会総会を徳島市内（徳島県総合福祉センター）で開催しました。当会からは代表の杉浦が参加。

6月16日、徳島市内でとくしま環境県民会議平成16年度総会が開催、当会からは代表の杉浦が出席。

6月19日、徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の研修会をいたの共同作業所あせび（板野町）にて開催。当会からは代表の杉浦が参加。

6月22日～25日、徳島市内の国府養護学校より、田村正子さんを実習生として受入。水曜日を除く3日間、不用品の回収作業、衣料品の作業などを体験。

6月29日18時30分～21時、徳島市市民活力開発センターにて第7回NPO意見交換会が開催、当会からは専任職員の小山が参加。

太陽と緑の会の活動を支えて下さっている皆様

§ 2004 年 4 月 21 日～2004 年 6 月 20 日 § (紙面の都合上、敬称は省略させていただきます)

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○中村、多川、金沢、森北、久重、東口、岡田、山田、池本、岡本、松浦、山口、山崎、田村、柏野、坂東、宮西、間宮、西、川崎、森、水口、鈴木、川崎、宮本、坂元、桑原、佐々木、長野、佐川、杉井、西村、矢野、藤本、滝山、森垣、東口、鬼頭、西野、前田、岡本、服部、明石、坂東、日高、中村、佐賀、斎田、知野、柿原、横山、森本、荒川、古川、森川、松浦、団、吉富、大内、佐々木、播磨、滝山、佐藤、斎田、寺西、大西、近江、坂東、久次米、井上、加藤、岡本、鎌田、永井、前田、坂東、川口、竹田、川西、赤川、助岡、平山、吉村、元淵、鴻野、佐藤、篠原、佐賀、竹内、おおぎ学園、井上、大下、阿部、藤川、月岡、大塚、木内、森川、坂井、池村、井上、フハマドシャリワ、三原、米原、藤原、梅岡、吉田、中野、照本、鎌田、鈴江、太田、二宮、伊原、中野、和田、坂東、多田、田村、藤本、鎌田、中山、和田、奥野、元淵、西岡、森、住友、和田、前田、近藤、松井、島本、助岡、梅の屋運送部、多田、河野医科器械梯、田村、住友、増田、近藤、米崎、多田、川原、原、森川、岩森、笹田、西岡、福本、船本、牧野、高井、横井、鷺野、長谷部、高橋、筒井、岡崎、斎藤、峯田、西山、梅本、竹内、森崎、生田、田口、吉村、川端、濱本、武井、森川、浜口、久重、玉垣、豊田、ナガサキ、小笠原、古泉、高木、桑原、菊池、西山、柿原、飛鳥、賀好、小林、三木、後藤、杉本、山本、谷口、宮本、熊谷、山口、平田、北井、松田、河野、逢坂、尾方、四電エンジニアリング梯、間宮、三木、後藤○石井町○川田、寒川、片山、秋山、中東、佐々木、香川、鴻野、筒井、池田、中村、西岡、木村、香川、加藤寒川、田中、秋山○鴨島町○宗本、住友、大森、岡崎、島田、川野、野口、ジェシカ・アーノット○北島町○今市、塚本、北野、多田、岩木○藍住町○井上、社会福祉法人 凌雲福祉会、佐野、鹿児島、矢野、石立、高田、松崎、西野、谷、山本○小松島市○川風、松浦、宮田、宮田○鳴門市○久野、中村、八嶋、西村、梅本、岩田、木下○山川町○露口、井内、矢本、吉田○上板町○佐野○板野町○木村、村田、鎌田○川島町○近久○穴喰町○谷岡○市場町○三浦○神山町○天野○土成町○大倉○阿波町○林、渡辺、斎藤○吉野町○高志、森本○月谷浦町○溝田○佐那河内村○藤○美郷村○加本○香川県○大西、三谷○神奈川県○田崎○豊中市○月本○京都府○井上、木村

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○栗飯原、鎌田、森、藤田、矢野、忠津、水野、大江、走川、若松建設、工藤、豊崎医院、三好、矢部、太田黒、野々木、天羽、田村、小西、佐藤、岡山、小沢、松江、梅本、渡部、森垣、平田、鎌田、石川、成瀬、赤木、橋本、大森、下田、松浦、澤野、磯垣、鈴江、木村、前川、花瀬、相原、鈴木、梅本、渡邊、楠本、佐古、吉川、渡辺、ピストロがぶり洋食店、日下、テモテ教会、西条産婦人科、阿部、浜田、矢本、宮城、大黒、照屋、坂東、木内、三宅、柄谷、高木、豊茂、井堀、蒲田、倉本、あいほらお好み焼き、佐藤、濱口、多田、小松、浜口、島田、大西、マキ歯科、長田、吉田、川崎、城西病院、鉄岡、田中、矢部、滝下、武井、大江、龍江堂、坂川、三村、犬伏、日下、遠藤、四宮、尾形、緒方、藤本、山本、天野、北島、植田、松田、湯浅、宮地、坂東、大島、鈴木、松田、松尾、坂井、中村、岸野、高橋、小西、鈴木、水口、三海、若松、池添、原中、大栗、沢田、バルネケ動物病院、野口、富田薬局、小松、近藤、谷田、田村、平野、近藤、米沢、糸井、坂東、中河、石渡、太田、三木、鈴木、あいざとパティオ、蛭原、司馬、武市、西原、坂東、パソQ、鬼頭、山川、出口、ユートピア八幡商店、末広ボール、三宅、豊田内科、大塚税理事務所、わたべサイクル、龍江堂、近藤組、大野元山、横田、岡山、上倉、武市、黒崎、阿竹、中川、松浦、坂入、吉田クリーニング、美馬、三浦、宮内、山村、栗本、上村、中山、黒川、金沢ガラス店、重井、藤岡、成瀬、谷口、瀬川、藤田、鳥井、小松、住友、三好、宮城、近藤組、相原、杉の香、秋田、丸宮、奥田、増田、竹宮、岡本、木村、佐野、阿部、井上、中田、安倍、北野、矢坂、増根、原、長尾、米田、山本、立石、鎌田、天野、松原、佐藤、山下、松原、田中、藤井、矢野、大坂、鹿島、杉山、位田、トラスト、菊地、坂本、小松、阿倍、皆本、小倉、八坂、速水、中野○石井町○林、後藤、いちらく屋、山下、大久保、中辻、吉田、石井薬局、広間、吉本○北島町○遠藤、坂口、河野、隅瀬、喫茶店美樹、落合、萩原、結城、吉田、セシール美容院、渡辺、滝○藍住町○桐野、宮本、青木○松茂町○濱田、吉崎○応神町○清水○鳴門市○久龍、シヤロンドンゲージスクール、佐伯、郡、小林、青木、フリースペース○鴨島町○松原、筒井、大村、鈴木、鴨島 100 円ショップ、鎌田、鴨島フリーマーケット○吉野町○加藤、宮川、竹縄

寄付して下さい下さった方々

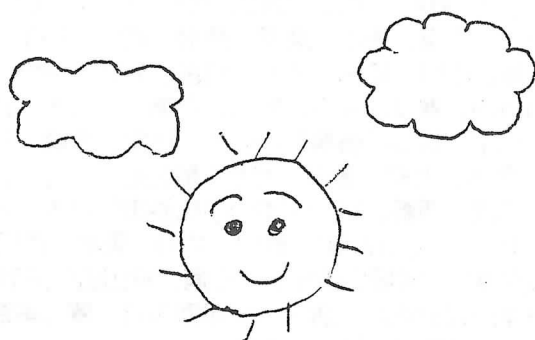
○徳島市○小松 5000 円、川端 1000 円○石井町○吉田 3000 円

不用品を持って来て下さった方には、持ち込みカードへの記入をお願いし、当会の機関紙をお渡ししていますが、ここでご紹介させて頂いているお名前は、そのカードに基づいています。「名前は結構です」

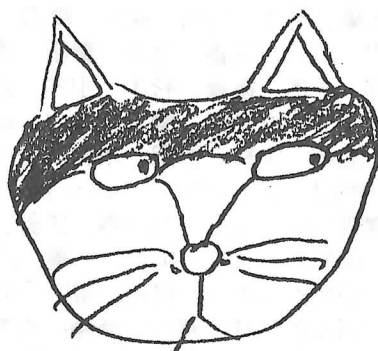
と言われて置いて行かれた方、何度も持って来て頂いた方も多数おられ、実際の不用品の引取件数は、ここでご紹介させて頂いた人数の3倍くらいあります。また徳島県外から持って来て下さった方、「捨てるにはしのびないから」とわざわざ郵送で送って下さった方もおられました。なお、厳重にチェックしておりますが、万が一お名前の書きもれ、書き間違いなどございましたら、ご一報頂ければ幸いです。

NPO法人太陽と緑の会の活動は、一般市民の方のご支援、ご協力によって支えられています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

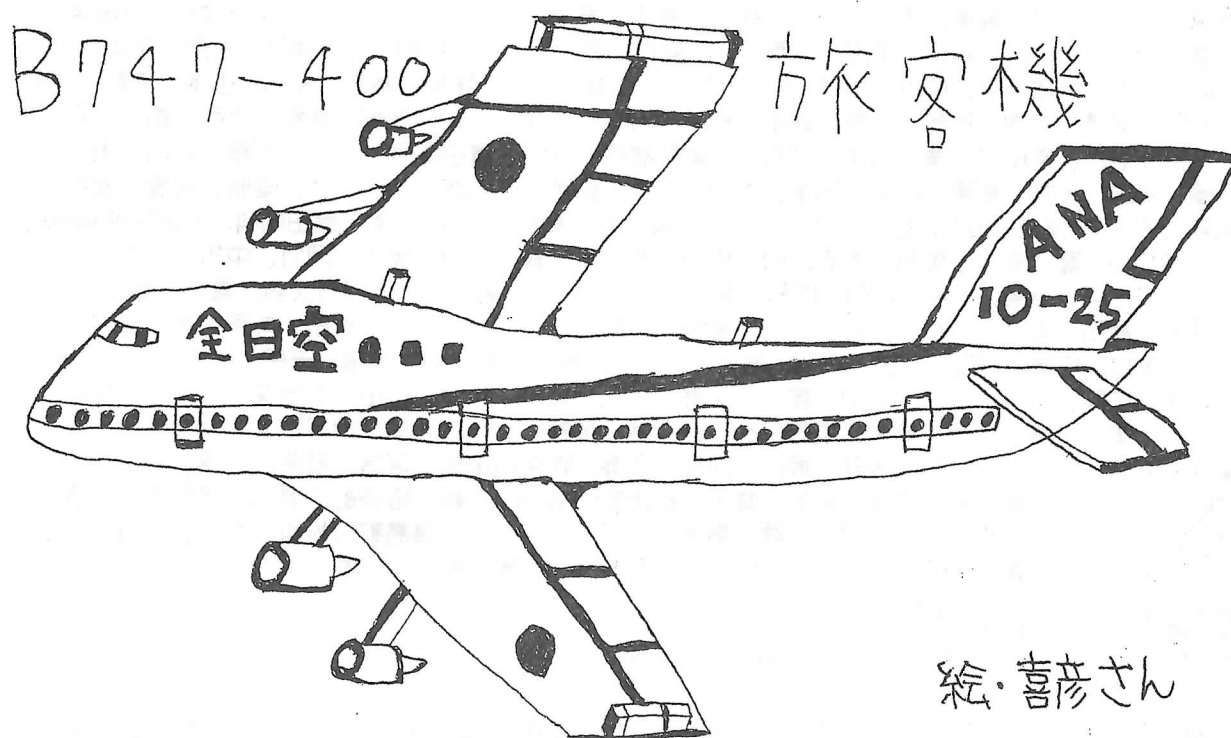
メンバースタッフ投稿コーナー



絵・岡田さん



絵・田村英介君



絵・喜彦さん

私が親に出していない手紙

加藤 祥子

夏が終わった頃、両親と共に10代の女の子がやってきました。「三日間だけお世話になります。」といったものの、午前中だけ作業をして帰っていく彼女の姿がもう何ヶ月か続いています。高校生の頃から家にこもる日が続き、学校も休学して今現在があります。ほとんどしゃべることもなく、お母さんの話す横で黙っている彼女がありました。リサイクルへ来始めて少しずつ硬い表情も和らぎ始め、声をかけると小さなかすれるような声ですがしっかり返答してくれるようになり、かすかに笑顔が見られるようになりました。会話らしい会話はなかなか難しいですが、「おはようございます。」「帰ります。またよろしく願います。」と、日に日に笑顔で挨拶してくれる彼女の後ろ姿を見ると、なぜ、内にこもる生活に入らざるをえなくなってしまったのか、色々考えさせられることになりました。中学までは優等生で、両親に認めてもらうために100点の成績をとることが唯一誉めてもらう為の手段であつたらう彼女。苦労した両親を少しでも喜ばせるためにグチをこぼさず(こぼせず)、良い子で頑張ってきた彼女は、だんだんと、良い子の自分では自分を支えきれず、かと言って反抗するほどのキャパシティを持ちえず、まじめな彼女は反抗期の時期を逃し、内にこもることではしか支えることができなかつたのではないだろうか……。誰もが迎える反抗期とよばれる思春期の頃、外への興味や、他人との関わりの中で様々な経験を経て成長していくが、良い子の仮面をかぶったままの彼女は仮面の脱ぎ方を知ることもなく、仮面をかぶっていることにも気づけないまま内なる世界にこもったまま時間が過ぎていくことになってしまったのではないだろうか……。彼女の仮面がとれる時初めて

自分の足で立って歩き始めることになるが、ご両親には前もって知っておくべきことがある。「苦労している両親を見て、それを誰よりも敏感に感じとった彼女は、外へ向かうべきエネルギーを内へ内へ閉じ込めてしまった。それが外れる時、両親への反抗、反発、言葉にも乱暴さが表れるかもしれません。でもそれは決してお父さん、お母さんが嫌いだからとか愛情がないという訳ではありません。そこらしか彼女のスタートはないからです。突然、優等生で良い子だった娘が反抗した(変わってしまった)と思わないで下さい。それはごく自然な彼女の成長なのです。」

杉浦さんの言葉を聞きながら、私は自分自身とどんどん重なりあつていくのを実感しました。なぜ中学までは優等生だった私は内へ内へともっていかずにすんだのだろうか? 「それは両親が苦労してきたことを敏感に感じとったとしても、“でも父ちゃん母ちゃんだって”と反発する言葉を備えていたからだよ」私が言えなかつた言葉を、かわりに妹がその役割を果たしてくれていたことにも気づかされました。暗く一人の世界に落ち込みかけたとき必ず「お姉ちゃんなんでそんな暗いの!」「お姉ちゃんはいえ子ぶりっ子!」と叫んでいました。妹とは毎日けんかばかりでしたが、今更ながらその存在を考えさせられます。色んな人との関係の中で私自身の内面を揺り動かされながらの日々がここにはあります。

平成13年吉日

私はこんな手紙を書いていました。今、、私は「忙しい」を理由に大事なことを忘れてないだろうか? 「忙しい」を言い訳に、大切なことを見失っていないだろうか? 日常の慌しさの中でも些細な出来事に気づける心をきちんともちあわせているだろうか? もう一度ゆっくり自分自身にといかけていきたいと思う。

編集後記

桃源郷

実存から離れた理想郷。今まで世界にはそう思わせる思想、空間は沢山あるし、今もあらゆるところで、そういった思想団体や国家の存在は否めない。

しかし、実際、桃源郷なんていうものは、支配者が都合のいいように唱えただけの、一空間で、ファシズム主義ではないが、与えられた現実を拒むのなら、あとは死を選択するしかない。「嫌で逃げるのだったら、反逆者とされ、いずれにしても存在は消され、結果的には死を選ぶ事と同じである」

冒頭からこんなこと書いてしまうと、なんだか益々明日の見えない時代に、拍車をかけてしまうので、ちょっと話題を明るくしたいと思う。

当会、(NPO)太陽と緑の会は上記のような、危ない思想や、政治行動などとはまったく無縁の団体で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、障害者福祉、リサイクル活動、環境問題取り組み、青少年育成活動、海外支援活動など、幅広く「明日の未来」を考えた活動を日々地道に行っている。まだまだ知名度も低く発展途上にある団体だが、今の時代「貧者の一灯」の精神を持って、生きている個人、活動している団体が少ない中、当会は「人、物、街」が活かされ、未来への準備にも目を向けながら環境保全も行っている、変な言い方をすれば、ちょっとへそ曲がり変わった団体でもあります。

これは私が個人的に思うことで、体育会系思想や軍国主義を否定するわけでは決してありません。あくまでも個人的な思いで

す。私は人が拘束され、従わなければ拉致されるか、公開処刑されるような、独裁主義、独裁思想には納得できません。世の中が荒れてる昨今だけにそう思うことがしばしばあります。

こんな事を今私が、こうやって書けるのも「人も物も活かされる」空間に今いれてるおかげで、そういう環境にいればこそ、客観的に世の中を見れるからではないかと思えます。

文 白石

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディーを持ったメンバー達の障害者地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら、年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延字小原 107-1

TEL 088-643-1054

(事務局)

088-642-1054

(リサイクル作業所)

FAX 088-642-1054

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

代表理事 杉浦 良 編集 白石 隆信

編集サポート 木村 有理子

年会費：正会員 10,000 円

準会員 1000 円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。